

# 派遣留学生帰国報告書

\* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2018/7/10
所属学部	法政経学部
所属学科・専攻	法政経学科

## 1. 留学先について

留学先大学名	ウイスコンシン大学ミルウォーキー校							
留学先所属学部等	College of Letters and Science							
留学期間	出発日	2017/8/27	入学日	2017/9/5	修了日	2018/5/18	帰国日	2018/5/23
住居	<input type="radio"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他( )					
	通学時間	5分					<input type="radio"/> On campus	
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="radio"/> ( 3 ) 人部屋	<input type="checkbox"/> その他( )				
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	<input type="checkbox"/> その他( テレビ )	
食事	自炊	30 %	学食	60 %	外食	10 %	その他 ( ) %	
保険	海外旅行保険(名称)	OSSMA会員専用 海外留学保険						
	派遣先大学指定の保険(名称)	Student Health Insurance Plan Designed for the Inter's of UWM					強制加入	
	その他	楽天カードとライフカードにそれぞれ付帯している海外旅行保険						
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウイスコンシン(電車)							
	成田	⇄	シカゴ(飛行機)	⇄	大学寮(無料送迎バス)			

## 2. 留学にかかった費用について

総費用	1,695,000 円						
出どころ							
自費	貯金	円	アルバイト	円	その他	円	
援助	両親	円	<input checked="" type="radio"/> 家族・親戚	1,694,840 円	その他	円	
奨学金	JASSO	円	その他名称( )	円			
その他	千葉大学助成金	円	その他( )	円			

## 2-1. 財政管理の方法

渡航時	○	現金	20,000 円	その他( )	円
留学中	○	海外送金	キャッシング	その他( )	円

## 2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	クレジットカード。
住居にかかった費用	クレジットカード。
その他	現金を使う場面はほとんどありませんでした。

## 2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	Y	200,000	200,000	円
海外旅行保険	Y	110,900	110,900	円
OSSMA	Y	19,440	19,440	円
査証・在留許可証	\$	380	38,000	円
住居	\$	6,562	656,200	円
食費	\$	3,000	300,000	円
通学に要する交通費	\$	0	0	円
教科書、教材費	\$	230	23,000	円
その他大学に支払った経費	\$	1,470	147,000	円
光熱費/wi-fi		寮費に含まれていました。	0	円
その他 (休暇中の旅行)	\$	1,000	100,000	円
その他 (交際費)	\$	1,000	100,000	円
その他 ( )				円
その他 ( )				円

## 3. 学業面

履修科目名	種類 <sup>ex.正規、聴講</sup>	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	○	無
1 Listening, Speaking and Notetaking Skills for Internaitonals	正規	4		○	無
2 Introduction to American Government and Politics	正規	3		○	無
3 Politics of World's Nations	正規	3		○	無
4 Introduction to International Relations	正規	3		○	無
5 Grammer and Editing in English for Multilingual Students	正規	3		○	無
6 Law and Society	正規	3		○	無
7 Introduction to Psychology	正規	3		○	無
8 Introduction to Sociology	正規	3		○	無
9					無
10					無

## 3-1. 授業科目の選択、登録方法

## &lt;授業科目の選択方法&gt;

千葉大学の卒業要件は留学前にほぼ満たしており、卒業論文もありませんでしたので、UWMでの履修科目は自由に選択できました。千葉大学では法学専攻ではありますが、UWMでは心理学や社会学も履修しました。

シラバスは初回の講義で配布される場合がほとんどですが、担当の教授にメールをすると事前にももらえる可能性があります。

## &lt;登録方法&gt;

「PAWS」という履修登録システムを利用します。千葉大でいうところの「学生ポータル」と同じ要領で、開講区分等を入力して講義を検索し、登録します。講義によっては受講要件(前提となる教科の履修等)や人数制限が設けられていますが、これらの情報もPAWSの講義検索から確認できます。

## 3-2. 授業内容、方法に関して

## &lt;授業内容&gt;

月間報告書で詳しく紹介しているつもりです。

## &lt;授業の方法&gt;

## ①レクチャー形式

授業の内容を踏まえた考察レポートを課されることがあります。

## ②レクチャー＋ディベート形式

大講義室で講義を受けた後、授業内容についてディベートする形式でした。

## ③レクチャー＋プレゼンテーション形式

レクチャーに関連する文献を読み、それについて発表する形式です。難しい文献をたくさん読む必要があり、大変でした。

## 3-3. 語学力について

**<講義>**

予習をしてから講義に出席するため、教授の話す英語が全く聞き取れないということは少なかったです。先生も生徒が講義についてこられるようにゆっくり話していました。ただし、生徒からでるランダムな質問や授業中のジョークについていけないことがありました。

**<日常会話>**

ひとくちに英会話と言っても話し手のバックグラウンドは全く異なるので、話しやすい人と話しにくい人がいました。いわゆる「標準的な」アメリカ英語を話す人や、海外留学経験のある学生とは、比較的気楽に会話できた一方で、訛っていたり、スラングをたくさん使う人の英語は難しかったです。全ての人と不自由なく英会話ができるというレベルに達しなかったという点は残念に感じます。この点は、これからの英語学習の課題になりそうです。

## 3-4. 図書館など学内施設について

**<図書館>**

平日は24時間空いています。カフェが併設されていて、パソコンも利用できます。試験期間中は無料で軽食が配布されたり、セラピー犬と触れ合うイベントが開催されたりします。

**<ジム>**

体育館、プール、フィットネスセンターなどが利用できます。週末は友達とバスケットをしました。アウトドア用品の貸し出しもあるそうです。

**<ユニオン>**

ファストフード店やカフェのほか、銀行、ボウリング場等が利用できます。

**<保健室>**

幸いお世話になることはありませんでしたが、簡単な診療や心理カウンセリング等が利用できたはずで

## 3-5. その他

**<秋セメスター開講前のイベント>**

渡航直後に参加したイベントを紹介します。

**①留学生向けガイダンス**

留学に必要な手続き、履修登録の方法、施設の利用方法などを教えてください。他国からきている留学生と仲良くなるチャンスです。

**②Targetツアー**

ショッピングモールに連れて行ってくれます。ここで寝具等の日用品を購入しました。

**③その他**

ミシガン湖のクルーズツアーやMLB観戦など

**<移動手段>****①バス**

UWMの学生はミルウォーキー市内を走るバスが無料です。UWMの寮間を接続するシャトルバスも無料です。

**②自転車**

自転車シェアリングを利用できます。年間パスが\$40でした。

**③B.O.O.S**

UWMの学生が無料で使えるタクシーです。夜の2時まで使えます。

## 4. 生活面

### 4-1. 住居について

#### <Sandburg Towerに住んだ感想>

私はキャンパス内にある寮(SandburgTower)に住みました。部屋は「3人部屋・キッチンなし」と、とてもよほかったです。もし部屋やルームメイトが気に入らなければ、三か月後に部屋を変更することもできたのですが、私の場合は特に問題がなかったのです。ずっと同じルームメイトと過ごしました。ルームメイトがうるさいとか、なんか臭いとか、そういう問題は度々起こりましたが、基本的には話せば通じる人たちでしたので、私は恵まれていたと思います。

#### <寮の応募方法>

インターネットで応募します。一人部屋が良いとか、キッチン付きが良いなどのこだわりがある人は、応募期間が始まったらすぐ応募することをお勧めします。

#### <設備>

設備に関する情報は <http://uwm.edu/housing/> で確認できます。

### 4-2. 食生活について

#### <Meal Planについて>

学内や寮内で食べ物を購入する際に、割引が利用できるプランです。学生証にチャージする形で使います。とくにSandburg Towerには大きな学食があり、ハンバーガーやタコス、サラダやデザート、日替わりのメニューを食べることができます。私はキッチンがない部屋に住んでいたため、ほぼ毎食利用していました。

#### <キャンパス周辺のおススメ飲食店>

##### ①Pita Pit

ファストフード店です。pitaというパン状の生地の中にサラダ、チーズ、ハマスなどを好きなだけ入れることができます。UWMのKenilworth寮のすぐ近くににあります。

##### ②Oakland Gyros

ギリシャ料理のお店です。ケバブが最高でした。キャンパスから歩いて5分ほどで行けます。

##### ③Calvers

ウィスコンシンを代表するバーガーショップです。ここのおいしさを知ってからMacdonald'sもBurger Kingも食べられなくなっていました。今一番恋しいアメリカの味です。

キャンパスからバスで15分ほどのところにあります。

### 4-3. インターネット環境、携帯電話について

#### <インターネット>

寮を含め、学内全域にwifiが飛んでいます。安定していて使いやすかったです。

#### <携帯電話>

H2O by KDDI という会社でSIMを購入しました。国際電話も利用可能で毎月\$30でした。アメリカではSMSを使っている人もそれなりにいたので、現地の電話番号を持つことができよかったです。

## 4-4. 服装について

北海道の気候を想像すれば、何が必要かは大体わかると思います。服は現地で買うのも良いと思います。私は冬山用のジャケットを\$50ほどで買いました。ちょうど良かったです。雪用のブーツを購入しましたが、あまり使いませんでした。雪の日はあまり外を出歩かなかったからです。

## &lt;おすすめの服屋&gt;

GoodwillとROSSが安いです。どちらもキャンパスからバスで15分ほどのところにあります。

## 4-5. 健康管理について

留学期間中は軽く風邪をひく程度で、辛い病気にはなりませんでした。

## &lt;日本から持参して重宝した薬&gt;

## ①消化酵素入り胃薬

脂っこい食べ物をたくさん食べるようになります。食べたくなくても、食べるようになります。当然、胃もたれします。そこで消化酵素入りの胃薬がとても重宝しました。

## ②葛根湯

風邪の引き初めに飲んでいました。

## 4-6. 保険、OSSMAの利用について

幸い、利用しませんでした。

## 4-7. 課外活動について

## &lt;Outdoor Pursuit&gt;

キャンプやサイクリング等のアウトドア活動を主催しています。長期休暇期間中だけではなく、セメスター中にも何かしらのイベントをやっていました。私は冬休みにRio Grandeツアーに参加しました。1週間ほどテキサスの川沿いでキャンプをしました。割安でとてもいい経験ができました。

<http://uwm.edu/urec/outdoor-pursuits/>

## &lt;日英Conversation Table&gt;

日本語を学習している学生とお話をする場です。週1回、昼休みに行われていました。日本の文化について興味を持っている学生が多く、楽しかったです。

## &lt;Japanese Culture Association&gt;

日本の食べ物やアニメ、遊びを共有しているサークルです。私はここでたくさんの日本文化を逆輸入しました。ここで出会った友達とはずっと仲が良いです。

Facebook: <https://www.facebook.com/JCAUWM/>

## 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

## &lt;Milwaukee Internationals&gt;

毎週金曜日に無料のディナーパーティーをやっていました。いろんな国からの留学生が集まって、ご飯を食べながら卓球やボードゲームを楽しみました。

Facebook: <https://www.facebook.com/Milwaukeeinternationals/>

## 4-9. 日本から持参してよかったもの

## ①インスタントみそ汁、ふりかけ

とにかく日本食が恋しくなります。現地で日本食を買えないこともないですが、やはり高額です。

## ②予備の文房具

アメリカの文房具は質が悪いです(私の知る範囲では)。お気に入りの消しゴムやペン、ノートは余分に持っていくといいかもしれません。

## 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

**<日本語の教科書>**

読む暇がありませんでした。アメリカで指定された教科書を読むだけで精いっぱいでした。

## 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

**<レストランや床屋など>**

システムが違うので戸惑うかもしれません。私は床屋でチップを払いそびれてしまい、気まずい思いをしたことがありました。(会計時に「チップは？」と聞かれているのに「レシートは？」と聞かれていると勘違いし、「NO」と言ってしまったことがあります。)初めのうちは友達に同行してもらったりしながら、徐々に慣れていくといいと思います。事前にレストランや床屋での会話表現などを勉強しておくのもいいと思います。

**<日常会話>**

会話の内容が分からないと険しい顔をしてしまうことが多いので、なんでも最後は笑顔で「ありがとう」というように心がけました。なれない文化の中で緊張していると、ついこの一言を忘れがちなので気を付けていました。

## 4-12. 余暇の過ごし方

## 旅行

**<冬休み>**

アメリカとメキシコの国境を流れるRio Grande川で川下りをしました。普段仲のいい友達と離れて、10日間ほどキャンプができたことは、とてもいい思い出です。2週間程度の日程で\$800程でした。

**<春休み>**

ミルウォーキーから40分ほど北上したところにあるシダーパークという町に遊びに行きました。小さな町に小さなお店がたくさん集まっていて、とても良いところでした。

その他 \* 気分転換やストレス発散法など。

**<ビールを飲む>**

ミルウォーキーはビールとチーズとソーセージで有名な街です。ビールとチーズとソーセージ…何度思い出しても最高です。

**<寝る>**

読みものは英語。聞こえてくる言葉も英語。話さなきゃいけない言葉も英語。こんな状況にいて疲れない人の方がおかしいです。私は疲れたと感じたらすぐ寝るようにしていました。

**<外で勉強する>**

春先はとても過ごしやすい気候になります。きれいな空気を吸いながら勉強するのは最高でした。ハンモックやレジャーシートを出して、勉強をしている学生もいました。冬にそんなことをやったら死にますが、吹雪のなか通行人から心配されたい人は試してみるといいと思います。

**<歌う>**

疲れたときはPCに入っている日本語の歌を歌っていました。僕のへたくそな歌声は部屋中に響き渡っていました。ルームメイトからしてみれば、わけのわからない歌が聞こえてきて、さぞ迷惑だったろうなと思います。

## 5. その他

## 5-1. 留学先大学について

**<大学所在地のミルウォーキーについて>**

あまり治安が良くない都市という評判ですが、UWMの学生は無料バスや無料送迎が利用でき、困ることはありません。

**<UWMについて>**

州立大学です。授業料がやや高めなこともあってか、講義に参加している生徒の意識は高いと思います。施設利用費をしっかりと徴収しているだけあり、レク系のイベントが多いです。積極的に利用することをお勧めします。

## 5-2. 留学希望者へのアドバイス

**<英語学習>**

私はイングリッシュハウスのIELTS対策講座を受けました。無料でIELTS対策ができるところなんてそうそうありません。とてもありがたかったです。また、英会話やアメリカ文化を紹介しているyoutuberがいるので、見ておくとかなり為になります。

**<就職活動>**

渡航前に就職支援課を利用して就職活動の計画等を立てていました。結局留学中に心変わりして公務員試験を受けることにしましたが、あれこれ考える時間は無駄ではなかったです。県庁や国家総合職の秋受験があることを最近まで知りませんでした。留学帰りの学生等を積極的に採用しているようなので頑張っているところです。

## 5-3. 留学を終えて

**<留学で得たもの>**

①**友人**。つらい時も楽しい時もいろんな人が声をかけてくれました。自分の英語が下手くそでもここまで通じ合えることがあるんだと驚くとともに、友人たちのあたたかさ感謝しています。また、友達ともしっかりと意思疎通したいという思いが、英語学習のプラスのモチベーションになっていました。もう少しするとアメリカから何人か日本に遊びに来るようですが、会うのがとても楽しみです。私も就活が終わったらアメリカに行ってみんなりに会いたいです。

②**自分を大切に**する心。留学期間中は短い留学を有意義なものにするために、自分で動いてきっかけを掴むことを心がけていました。そのためには、自分に心の余裕と元気がないといけません。だから、留学中は自分が心身ともに元気であることを大切にしていました。当たり前のことかもしれませんが、自分にとってこの気付きは大きな財産になりました。アメリカに行って、その日一日を大切にしたいと本気で思っていたからこそ学ぶことができたことだと思っています。

**<今後の活動>**

①**就職活動**について。これから公務員試験を受けます。公務員になったら、定住外国人の支援や観光政策などに関わり、地域の国際化に貢献していきたいと思っています。

②**プライベート**では、休日などを利用して、国際交流ボランティアに積極的に関わっていきたく思います。10か月間みっちり英会話を練習したことによって、英語を使うことに対するハードルがかなり下がりました。以前は「英語に自信ないな…」と思って躊躇していたことも積極的にできるようになりました。自分がしてもらって嬉しかったことを、日本に来ている外人さんにもお返ししていきたいと思っています。